

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年6月29日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費に一服感がみられるものの、総じて見れば横ばい圏内の動きといえる。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。(4月)
新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を上回ったが、
乗用車新車新規登録台数は前年を下回った。(5月)

産業面・・・おおむね横ばいとなっている。

鉱工業生産指数が電気機械工業等の増により前月を上回った。(4月)

雇用面・・・おおむね横ばいとなっている。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。(4月)

求人倍率は、新規は前月を上回り、有効は前月と同水準となった。(5月)

需要面の動き

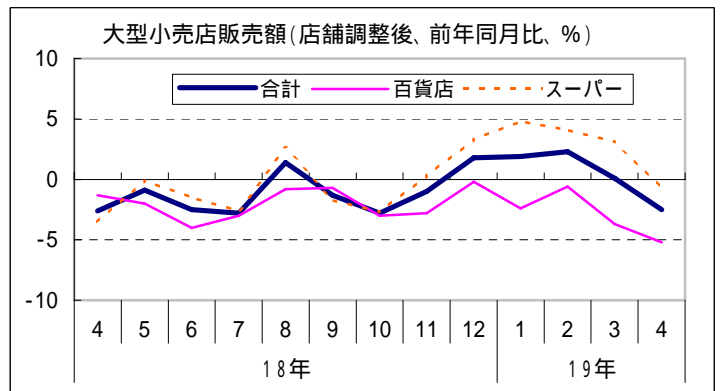
大型小売店販売額(4月)

全店舗の販売額は、53億7,863万円(前年同月比2.5%減)と5か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも5か月ぶりに前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	537,863	2.5 (2.5)
百貨店	203,434	5.2 (5.2)
スーパー	334,429	0.7 (0.7)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(4月)

32億3,053万円(前年同月比0.7%減)と6か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(5月)

1,426台(前年同月比7.4%減)と11か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、小型車の減少(前年同月比11.3%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(5月)

473戸(前年同月比4.4%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比16.7%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(5月)

80億9,960万円(前年同月比503.7%増)と2か月続いて前年を上回った。用途別では、飲食店、宿泊業用(前年同月比3,444.7%増)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(5月)

68億2,700万円(前年同月比64.7%増)と3か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、独立行政法人等の増(前年同月比191.6%増)が大きな割合を占めた。

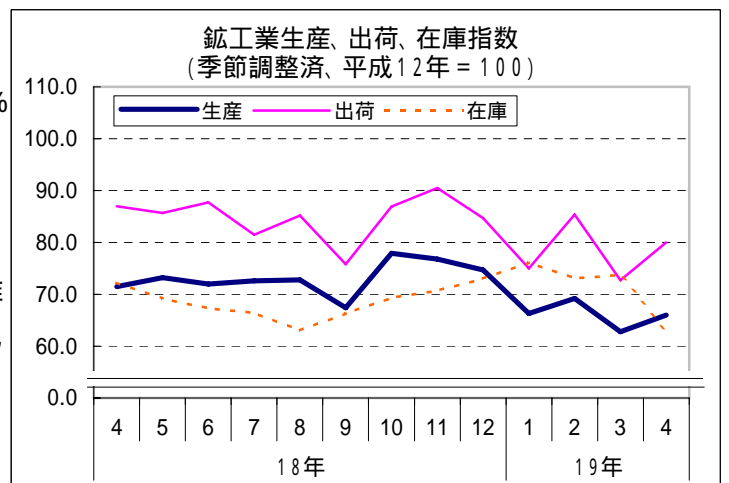
産業面の動き

鉱工業指数(4月)

生産指数(季節調整済)は66.0(前月比5.1%上昇)と2か月ぶりに上昇したが、原指数では66.8(前年同月比6.8%低下)と4か月続いて低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子等の生産増により3.4%上昇、食品・たばこが1.1%低下、一般機械が28.4%上昇、繊維が1.5%低下した。

在庫指数(季節調整済)は62.9と前月比14.7%低下した。



大口需要電力実績(4月)

124,331千kwh(前年同月比5.0%増)と3か月ぶりに前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等で増となり5.1%増加した。

青果物卸売量(5月、鳥取市場)

野菜が1,722t(前年同月比0.9%増)と2か月続いて前年を上回り、果実は708t(前年同月比9.5%減)と12か月続いて前年を下回った。

漁獲量(5月、境港)

7,253t(前年同月比25.8%減)と10か月ぶりに前年を下回った。

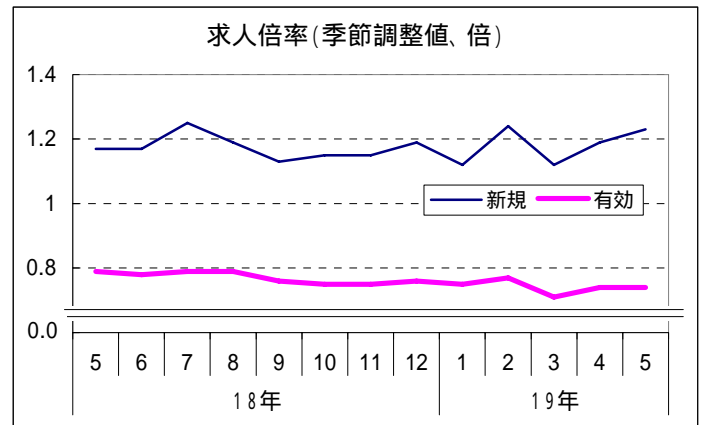
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(5月)

1.23倍(前月差0.04ポイント上昇、前年同月差0.06ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,128人で前年同月比5.5%の増であった。

有効求人倍率(5月)

0.74倍(前月と同水準、前年同月差0.05ポイント低下)と9年3か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(4月)

253,036円(前年同月比3.0%減)と2か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,296円で10か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(4月)

9.4時間(前年同月比8.3%減)と4か月続いて前年を下回った。主力の製造業は13.4%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比145.5%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比57.3%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(4月末)

預金残高は、1兆8,558億円(前年同月比1.6%増)と8か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,479億円(前年同月比1.6%減)と8か月続いて前年を下回った。

参考

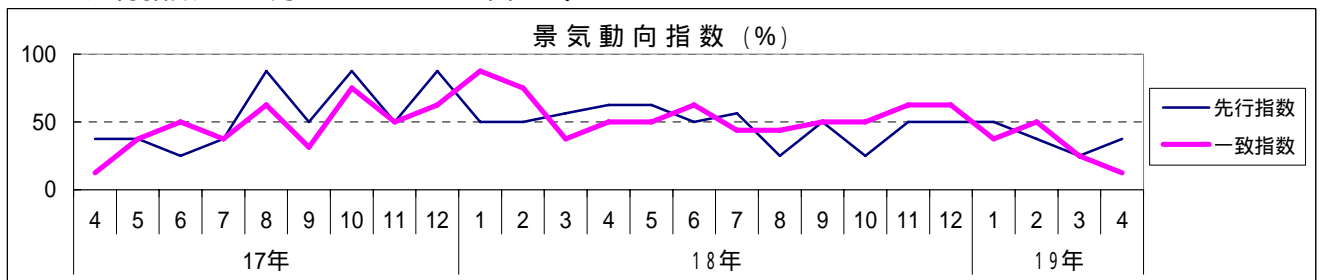
鳥取県景気動向指数(4月)

先行指数37.5%、一致指数12.5%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は3か月続いて50%を下回った。

一致指数は2か月続いて50%を下回った。

遅行指数は6か月ぶりに50%を上回った。



企業倒産(5月)

件数は6件(前年同月比20.0%増)で4か月ぶりに前年を上回り、負債総額は11億9,200万円(前年同月比53.3%減)で3か月続いて前年を下回った。

消費者物価指数(5月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月比(0.5%上昇)は2か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.7%下落)は9か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(6月1日現在)

600,563人で、前月と比べて144人(0.02%)減少し、前年同月と比べて3,832人(0.63%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年5月調査)

平成19年7~9月期は、平成19年4~6月期に比べると景気、売上高、経常利益ともやや好調となる見通しとなっている。